
中谷運輸築港ビル [旧商船三井築港ビル]



1903（明治36）年に整備された築港大棧橋（現・中央突堤）のたもとに、天満屋ビルと肩を並べて建つ中谷運輸築港ビルは、1933（昭和8）年に大阪商船（現・商船三井）が、船舶の切符売場兼船員の待合所として建てた近代建築。現在は2階建に見えるが、実は竣工当時は地上3階建だった。大阪の海に近いエリアは昔から地盤が低く、台風などの水害に繰り返し悩まされてきたことから、戦後の復興事業によってこのあたりの道路全体が2mほど嵩上げされた。その結果、建物の1階がほぼ地中に埋まってしまったのだ。南側の立面がシンメトリーなのに、入口が右の角に設けられているのは、嵩上げされた際に新しく設けられたから。また当初は全体が凸型の形態で、両肩の部分は後に増築されている。解体の危機をくぐり抜け、1階に飲食店などが入居して活用されている。（高岡伸一）

英語名：Nakatani Transportation Chikko Building

所在地：大阪市港区海岸通 1-5-25

建設年：1933年 -